

A4サイズ・片面印刷

受験番号

(大学使用欄)

入力例

探究活動概要説明書

入力例は項目1、項目2、
項目3-1、3-2、3-8のみです。

ふりがな	うみの ほたる	志望	経済学科
氏名	海野 蛍	学科	

1 探究活動を行った時間

1-1 科目

提出した成果物に関する探究活動を行った科目名を選んでください。（入力必須）

総合的な探究の時間

「その他の学校設定科目」を選択した場合は科目名を入力→

1-2 期間

提出した成果物に関する探究活動を行った期間を入力してください。（入力必須）

開始 2024 年（西暦） 4 月

終了 年（西暦） 月

現在進行中 ＝現在進行中の場合は上記「終了」欄に入力せず、こちらにチェックを入力してください。

2 探究活動を行った人数

2-1 個人・グループの別

提出した成果物に関する探究活動について、個人で取り組んだものかグループで取り組んだものかを選んでください。（入力必須）

グループ

2-2 グループの人数（「2-1 個人・グループの別」で「グループ」と回答した者のみ）

5 人

2-3 成果物に対する寄与（「2-1 個人・グループの別」で「グループ」と回答した者のみ）

グループで取り組んだ場合には、提出した成果物の内容のうち、あなたが担当した部分と具体的な役割を説明してください。

5ページの先行研究と新聞記事の収集・整理の部分。7-8ページのホタルイカの身投げ発生日の自然条件の分析の部分。

(20字以上100字以内)

文字数カウント

55

A4サイズ・片面印刷

受験番号

(大学使用欄)

3 探究活動の概要

3-1 探究活動のテーマ

提出した成果物に関する探究活動のテーマ（または研究課題や研究主題）を入力してください。（**入力必須**）

ホタルイカの身投げはどのような条件で起こるのか

3-2 目的

提出した成果物に関する探究活動の目的を入力してください。（**入力必須**）

この探究活動の目的は、

ホタルイカが大挙して海岸に押し寄せ浜辺に打ち上げられる現象がどのような条件で起こるのかを明らかにすること

である。

3-3 テーマ・目的設定の背景、理由、経緯

「3-1 探究活動のテーマ」に入力したテーマ（または研究課題や研究主題）及び「3-2 目的」に入力した目的を設定した背景、理由、問題意識、経緯を説明してください。

（**入力必須**）

※入力例なし

(300字以上400字以内)

文字数カウント

0

A4サイズ・片面印刷

受験番号
(大学使用欄)

3-8 引用文献

提出した成果物で引用した文献のうち重要なものを5つまで選んで入力してください。

※提出した成果物における位置づけ（引用した箇所（ページ番号など）と引用した理由の説明）を示してください

※提出した成果物で引用した文献がない場合には記入する必要はありません。空欄のまま印刷して提出してください。

1	文献の種類	論文	発行年（西暦）	2009	年
	著者名	道之前 允直・石川 正樹・鬼頭 勇次			
	タイトル	ホタルイカと光——ホタルイカの身投げ——			
	出版社名				
	媒体名	海洋と生物, 31(3), 280-286			
	URL				
	引用箇所	283-285ページ 図5、6、7			
引用理由	ホタルイカの身投げに関するほぼ唯一の学術誌掲載論文であり、日中の天候、昼夜の風向、月齢がホタルイカの身投げ発生と関連することを示している。この探究活動の主要な先行研究である。				
2	文献の種類	書籍	発行年（西暦）	2000	年
	著者名	奥谷 喬司			
	タイトル	ホタルイカの素顔			
	出版社名	東海大学出版会			
	媒体名				
	URL				
	引用箇所	35-84ページ			
引用理由	発光生化学、視覚生理学、分類学、形態学、生活史、海洋生物資源学の観点からのホタルイカに関する研究知見を網羅した文献であり、生活史、海洋生物資源学からの説明の部分を成果物の概説部分で引用した。				
3	文献の種類	オンライン資料	発行年（西暦）	2023	年
	著者名				
	タイトル	ホタルイカはなぜ光る？			
	出版社名				
	媒体名				
	URL	https://umito.maruha-nichiro.co.jp/article145/			
	引用箇所	富山県と兵庫県のホタルイカ漁獲量を比較している部分			
引用理由	水温や海流の変化と漁獲量との関係について言及しているために引用した。				

入力例

A4サイズ・片面印刷

受験番号
(大学使用欄)

4	文献の種類	新聞	発行年（西暦）	2025	年
	著者名				
	タイトル	ホタルイカ脱珍味へ 富山・魚津漁協、キッコーマンと加工			
	出版社名				
	媒体名	日本経済新聞 2025年3月27日朝刊			
	URL				
	引用箇所	記事全体			
引用理由	食材としてのホタルイカの魅力を紹介するために引用した。				
5	文献の種類	その他	発行年（西暦）	2024	年
	著者名	富山県農林水産総合技術センター水産研究所			
	タイトル	令和4年度富山県農林水産総合技術センター水産研究所年報			
	出版社名	富山県農林水産総合技術センター水産研究所			
	媒体名				
	URL				
	引用箇所	19-21ページ			
引用理由	3月から5月にかけての平均気温とホタルイカの漁獲量との関係を示すために引用した。				